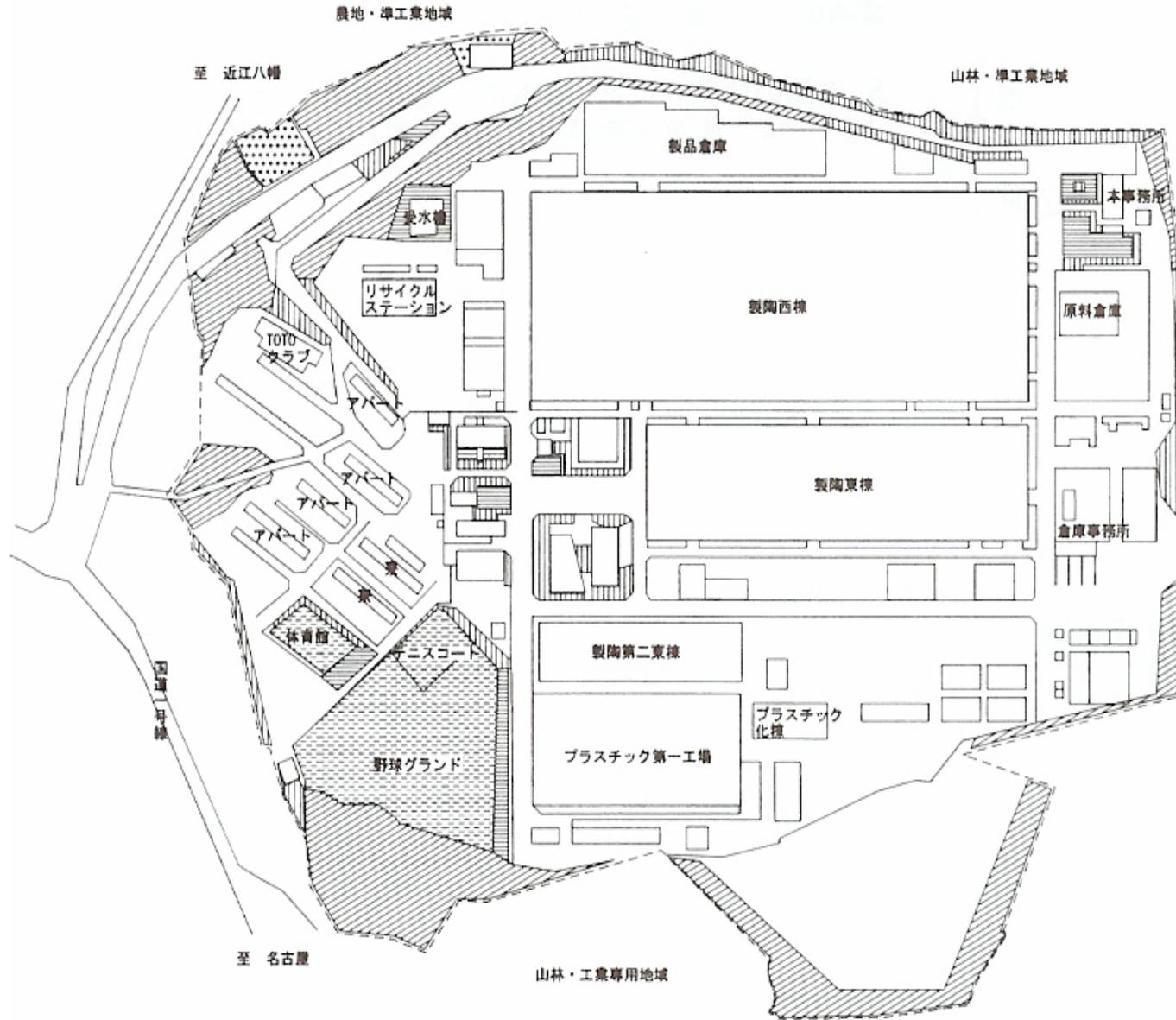


会 社 ・ 工 場 名	東陶機器株式会社 滋賀工場					
工 場 所 在 地	〒520-3281 滋賀県湖南市朝国1					
工 場 代 表 者	工場長 江藤 一郎					
担 当 窓 口	総務グループ			電話0748(72)1151		
工 場 の 建 設 開 始 年 月	昭和36年5月		主たる業種名(主要製品名)		窯業・土石製造業(衛生陶器)	
工 場 の 敷 地 面 積	183,919 m ²		建築面積		68,789 m ²	
周 囲 の 状 況	周辺土地利用(工場地区、森林・林地)			用途地域(工業専用地域・準工業地域)		
敷地面積に対する緑地等の割合	緑 地	22 %	緑地以外の 環境施設	6 %	合 計	28 %
緑地等の種別面積割合	自然型 樹群・樹林	51 %	整形型 樹群・樹林	18 %	単木・列状 植栽地	1 %
	地被植物	9 %	花 壇	0 %	そ の 他	%
	緑地合計	79 %	緑地以外の 環境施設	21 %	緑地等の 総面積	50,367 m ²
緑地等の所在地別割合	敷地境界沿い	20 %	作業棟周辺 ・その他	1 %		

東陶機器(株)滋賀工場



-  自然型樹群樹林
-  整形型樹群樹林
-  単木列状植栽地
-  芝生
-  その他の植栽
-  花壇
-  緑地以外の環境施設

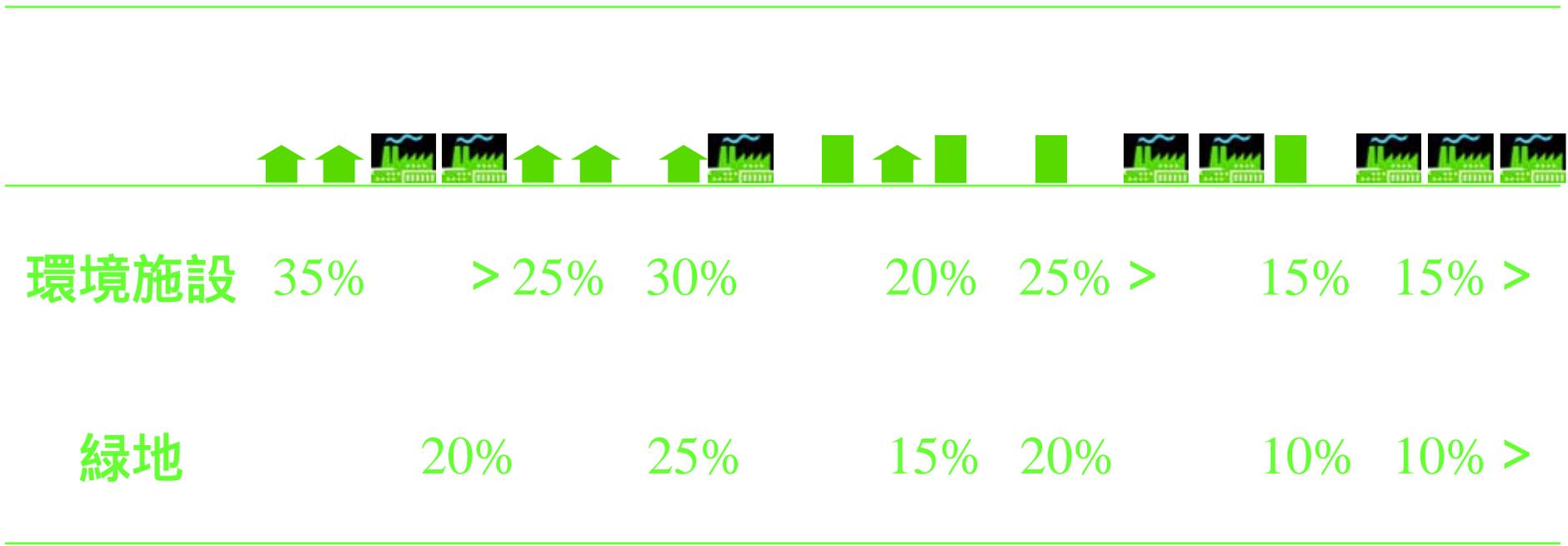
会社・工場名	三和酒類株式会社 安心院葡萄酒工房					
工場所在地	〒872-0521 大分県宇佐市安心院町下毛798					
工場代表者	工房長 相川 武康					
担当窓口	安心院葡萄酒工房			電話0978(34)2210		
工場の建設開始年月	平成12年10月		主たる業種名(主要製品名)		食料品製造業 (果実酒及び甘味果実酒)	
工場の敷地面積	26,469 m ²		建築面積		2,639 m ²	
周囲の状況	周辺土地利用(農地)			用途地域(都市計画区域外)		
敷地面積に対する緑地等の割合	緑地	45%	緑地以外の環境施設	10%	合計	55%
緑地等の種別面積割合	自然型樹群・樹林	15%	整形型樹群・樹林	35%	単木・列状植栽地	0%
	地被植物	16%	花壇	%	その他	15%
	緑地合計	81%	緑地以外の環境施設	19%	緑地等の総面積	14,603 m ²
緑地等の所在地別割合	敷地境界沿い	16%	作業棟周辺他	29%		



-  自然型樹群樹林
-  整形式樹群樹林
-  単木列状植栽地
-  芝生
-  その他の植栽
-  花壇
-  緑地以外の環境施設

三和酒類(株)安心院葡萄酒工房

綠地等面積率





社員の戸建社宅は庭つきで緑も豊かである。管理は入居者が行っている。



敷地造成で生じる法面も曲線の通路を付けて柔らかさを演出している。



緑豊かな敷地に明快にデザインされた建て物や駐車場が整備されコントラストを醸し出している。周辺が自然の山をそのまま活用しているからこそできる整備手法である。建物は、ハーフミラーを使用し、周辺の山を映しだし、建て物自体が風景に溶け込むよう配慮されている。



工場増設にあたっては、自然地形を残しながら、地形を生かした形で進めている。



敷地内に設けられた独身寮であるが、シンプルで明快な緑化が行われ、維持管理も容易なように配慮されている。



ゲストハウスに設けられたプールは、調整池に突き出た丘のうえにあり、開放的な眺めを楽しめるよう配慮されている。ここでは、人工的景観よりも、自然そのものを眺めることができ



集落景観との調和を考慮し、蔵造りの重厚な建物となっている。



急峻な地形を生かした工場の建物は立体的な空間構成となっており、それぞれに海を借景としたつくりとなっている。このような外観からは工場とは思えない。



住宅を改装したギャラリーは、海を楽しむ庭もついている。こういった敷地では、狭い面積でも近景を上手に整備することで、緑豊かな景観を整備することができる。



高低差を利用した土地利用は、斜面の処理の仕方で魅力的な空間を演出することができる。この奥に小さなギャラリーがある。



たこを加工している回転装置であるが、これも、工場内の添景として効果的な場所に配置されている。



立体的な建物配置は見る位置を変えると様々な表情を醸し出す。

工場立地法

国民経済の健康な発展，国民の福祉の向上

公害の防止

生活環境の保持

緑地面積率（緑地，環境施設）



緑の量

: 緑化面積割合 (緑地率, 緑被率)
単位面積当たりの植栽本数
視覚的緑量 (緑視率)

緑の質

: 緑の適正配置
工場内の施設, 空間に対応した緑
緑の機能と緑の形態